



特集

飼い主のいない猫(野良猫)を減らしていくために



野良猫を増やさないために

野良猫は、人間に捨てられたり、迷子になったり、繁殖制限がされなかったために生まれた猫です。猫は、本能で行動しています。そのため、人間がルールを守り、正しい飼育をしなければなりません。

野良猫がかわいそうだからと餌を与え、食べ残しやふん尿の始末をしない無責任な行為は、近所迷惑だけでなく、野良猫を増やす原因になります。結果として、交通事故や病気、虐待などの危険にさらされる不幸な猫を増やしてしまいます。



野良猫への無責任な餌やりはやめましょう



●野良猫によるトラブル

野良猫が増えることは、「庭にふん尿をされた」・「庭や畑を荒らされた」などのトラブルの原因となります。

●野良猫の遺棄

野良猫を捕獲し、他の場所に捨てることは、遺棄にあたり動物愛護法違反となります。また、捨てられた場所の方にも迷惑となります。

●猫の飼い主は、次のことにご協力をお願いします。

①終生飼養

飼われている猫については、その命を終えるまで適切に飼う終生飼養をお願いします。

②飼い主の明示

飼い猫に首輪、名札等をつけ、飼い主が明らかになるように努めてください。飼い猫が、帰って来なくなったときや災害時に発見が容易になります。

③屋内での飼育

猫は快適な環境を整え、飼い主が良いコミュニケーションをとることで屋内でも暮らせませす。交通事故や感染症への感染等、屋外での危険から飼い猫を守るためにも、屋内での飼育にご協力をお願いします。

●問合せ先 すこやかセンター内保健環境課